

鷲田清一「人生案内」―「中学受験するが成績伸びない」読売新聞 2018年11月29日朝刊を読む

中学受験するが成績伸びない

- Q 1. 小学6年生の男子。公立小学校に通っています。これからの進路について、悩んでいます。
2. ぼくは私立中学校を目指して、現在がんばって勉強しています。ところが、いくら勉強しても成績が上がりません。
 3. 週に4回塾に通っており、夏休みも1日10時間、机に向かう合宿に参加しました。それでも思ったほど成績は伸びません。
 4. 特に国語がまったくできません。読んでいる間に文章の意味がわからなくなってしまいます。最後まで読んでも、なにを答えに書けばいいのか、さっぱりわからないのです。
 5. 塾に相談して、特別にプリントを作ってもらいました。今はそれに取り組むようにしています。
 6. 受験が近づいて来ました。ぼくは悔いのないようにしたいのです。どのようにすればよいでしょうか。たすけてください。
- A 1. 受験も目前に迫り、塾に、合宿にとがんばっていますね。子どものころ移り気だった私は、あなたの集中力に驚くばかりです。ただその成果がなかなか出ず、あせっているようですね。
2. あなたが抱えている問題は、ほんとうは、受験までの間をどう過ごすかより、はるかに大きな問題です。
 3. 受験勉強はたいへんでしょうが、受験そのものはあなたの人生の目標ではないはず。目標の学校に入るのは何がしたいからか。それを考えないと、受験がすめばきっと体から力が抜けてしまうことでしょう。
 4. 世界はまだあなたの知らないことでいっぱいです。何がしたいのかを考えるより先に、世界で起こっているさまざまなできごとに、たとえば新聞などでふれるよう心がけてください。ハットすることにはたくさん出会えるはずです。さらにそこからは、いつかあなたの力を借りたい人の声も聞こえるはずです。ついでに国語の勉強にもなります。
 5. じつは私も中学まで国語が苦手でしたが、何としても知りたいことができると、プリントではなく本をじっくり読みたくなりました。受験がすんだら、いちど自分の双眼鏡をいろいろと動かしてみてください。

<コメント>

受験勉強と同時にやるべきことは、「新聞」と「読書」を活用して「読解力」を身に着けることであることが具体例を通してよく「理解」できる、哲学者・鷲田清一先生による「人生案内」です。皆様にも御紹介ください。

2018年11月29日(木)林明夫記